

# 「PC の先駆者たち（人物編）」の連載にあたって

PC アーカイブス委員会 委員長 前田 晴人\*

## 1. PC アーカイブス委員会

本工学会は、「わが国 PC 技術者の知識を結集し、組織を以てプレストレストコンクリート国際連盟（現 fib）に日本を代表して加盟し、国際交流による PC の普及と振興を図る」目的で 1958（昭和 33）年に創立され、今日まで、本誌、規準などを含めた多くの書籍類を発刊してきた。

しかしながら、工学会発足以前の資料がまとめられておらず、発足後においても研究機関や企業などで実施された研究開発資料のすべてが本誌などに集約されているわけではなく、各機関に散在しているのが現状である。

そこで、本工学会では、PC 技術の継承の観点から、これらの資料を集約し、いつでも検索できる体制を整えるために、また、とくに古い資料の存在を知る方々が高齢化しており、早期に取り組むべき課題であるとの認識から、2018（平成 30）年 7 月に、PC 技術のアーカイブ化を目的とする「PC アーカイブス委員会」を発足させた。

PC アーカイブス委員会には、収集整理 WG、システム検討 WG および原稿企画 WG を設けている。収集整理 WG は、文字どおり資料を収集し、整理する WG である。システム検討 WG は、本工学会のホームページに PC アーカイブの検索システムを構築するための検討を行う WG であり、2019（令和元）年 11 月に検索システムを公開するに至った。原稿企画 WG は、収集整理したアーカイブを広く会員に知らしめるため、アーカイブの概要を原稿にまとめるための企画立案、原稿依頼、原稿査読を行う WG である。今回連載する「PC の先駆者たち（人物編）」は、その企画の一つである。

## 2. PC の先駆者たち（人物編）

PC の先駆者たち（人物編）は、戦前、戦後から PC の黎明期（～1959 年）にかけて PC の導入、普及、発展に寄与した人物に焦点をあて、それぞれの人物と関係の深い方々に新たに原稿執筆を依頼し、まとめたものである。人物の選定は「本工学会名誉会員」「初期の立上げ時の功労者」「工法開発・導入の功労者」で物故者の観点から委員会にて推薦を募り、25 名を選定するに至った。これらの先駆者のうち、本誌上では、紙面の制限から、①吉田徳次郎博士、②坂 静雄博士、③藤田亀太郎博士、④仁杉 巖博士、⑤猪股俊司博士および⑥六車 熙博士の 6 名について、2020 年の第 1 号（本号）から第 6 号にかけて 1 年間にわたって連載する。

PC の先駆者たち（人物編）の全編、それに加えた PC の先駆者たち（企業編）については、上記の連載の終了に合わせて、1 冊にまとめた冊子として会員に提供する予定である。

## 3. 連載する先駆者たちの肖像

- 1) 吉田徳次郎博士：本工学会初代会長、九州大学・東京大学教授
- 2) 坂 静雄博士：工学会賞創設者、京都大学教授
- 3) 藤田亀太郎博士：極東鋼弦コンクリート振興(株)創設者
- 4) 仁杉 巖博士：第一大戸川橋梁担当者、最後の日本国有鉄道総裁
- 5) 猪股俊司博士：上松川橋担当者、示方書作成に尽力
- 6) 六車 熙博士：建築構造への普及、京都大学教授

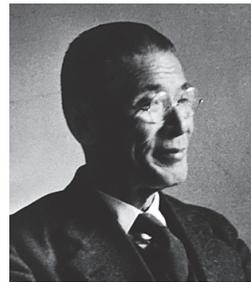


写真 - 1 吉田徳次郎博士



写真 - 2 坂 静雄博士



写真 - 3 藤田亀太郎博士



写真 - 4 仁杉 巖博士



写真 - 5 猪股俊司博士



写真 - 6 六車 熙博士

\* Haruhito MAEDA：(株)日本構造橋梁研究所 代表取締役社長 本工学会副会長